

福井市との包括連携事業 輝く女性の未来予想図事業 「仁短♥ガールズトーク」

幼児教育学科

本事業は、若い女性が地元福井で就職・結婚・子育てといった未来予想図を描き、その実現の一助となることを目的として、女性活躍促進課と幼児教育学科が連携して開催したものです。

日時：平成28年10月19日

場所：仁愛女子短期大学

講師：(50音順)

- 生駒亜希子氏 福井市社保育園
- 清水佐智代氏 福井市上北野保育園
- 轟由希氏 認定こども園福井佼成幼稚園
- 南北香苗氏 福井市啓蒙保育園
- 宮腰未来氏 福井市森田浜保育園

今回は、幼児教育学科全学生230名を対象として、本学の卒業生で保育者としての経験が比較的長い5名を講師として以下の5つのテーマでパネルディスカッションを開催しました。

- ①学生時代にやっておくと良いこと
- ②これからの保育者に必要な資質や素養
- ③仕事の成功談・失敗談
- ④結婚・出産などのライフイベント
- ⑤結婚後の仕事と家庭の両立

これらのテーマに関して事前にアンケートを実施し、学生が知りたいと思う話題について重点的にお話をして頂きました。



「発表会での子どもたちの成長を見ると、この仕事を続けてよかったと思う」や「ピアノや手遊びをもっと勉強しておけばよかった」といった話題に多くの学生が納得した様子で聴講していました。また、「仕事で失敗したときに、(思いがけず)園で子どもに慰められることがある」との話題では、学生の各々が実習での経験を振り返る機会となったようです。

さらに、「仕事が終わっても家事があつて大変だが、園の子どもたちに元気づけられる」ことや、「職場であつた嫌なことも、家に帰って子どもたちと遊んだり話したりすることで癒される」など仕事と家庭を両立する保育者ならではの話題に、多くの学生が共感したようです。

「そもそも自分が結婚することや出産することが想像できない」と発言していた学生もあり、学生にとっては自分の未来予想図を描けと言われても簡単ではなかったようです。しかし、様々な経験をされた講師の方のお話を聞いたことで安心した部分と、身を引き締めなければと思いを新たにしている部分があつたのではないのでしょうか。

(文責：中尾繁史)